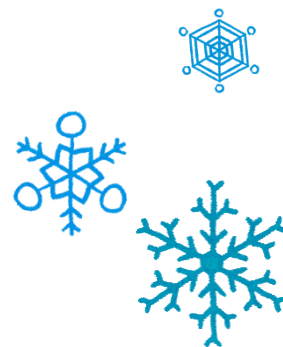


「2学期の生活科の学習」

2学期も様々な体験を通して、身近な自然と関わり、多くの気づきを得ることができました。

【あさがおのリース作り】

5月中旬にあさがおの種を植えてからおよそ5ヶ月半。11月に入ると花は咲かなくなり、長くて丈夫なツルが残りました。そこで、そのツルを使って、あさがおのリースを作りました。まずは、支柱に巻き付いているツルを外すところからです。「ぐるぐる巻き付いていて、なかなか取れない。」「こんなに長かったんだ。」「チクチクする。」などと、よく見て触って、気付いたことがたくさんありました。次に、取ったツルを円形にしました。「すぐに元の形に戻っちゃう。」と、ツルの力強さにびっくりしていました。円の形にしたものは2週間ほど乾燥させます。その後、思い思いに飾りつけをしてようやく完成しました。ずっと育ててきたあさがおのツルを使ったリースなので、喜びはひとしおです。子どもたちは、大事そうに眺めていました。



【チューリップの球根の観察・チューリップの栽培】

あさがおの栽培が終わった11月中旬頃に今度はチューリップの球根を観察しました。1学期から何度も観察を行ってきたので子供たちは観察上手です。今回はすすんで球根を手に乗せて、形や大きさ、触った感じを確かめていました。「形は玉ねぎみたい。」「茶色の皮が付いている部分はカサカサしているけれど、白い部分はしっとりしている。」など、多くのことに気づきました。また、「あさがおは種なのに、どうしてチューリップは球根なんだろう。」という疑問をもつ児童もいて、植物の育ち方の違いにも気付いていました。



観察の後は球根植えをしました。「花は何色かなあ。」「いつ芽が出るんだらう。」と楽しみにしながら、優しく土をかぶせました。すると、冬休み直前に無事芽が出始めました。芽が出たことを喜び合いながら、花が咲くのをみんなで楽しみに待っています。

